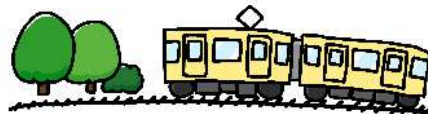


ぐるっと一周する



絶景路線・只見線+磐越西線

川と並行する絶景路線はグルメも楽しめます。ご利用は JR フリーパスチケットがおすすめです。

SLばんえつ物語 (臨時快速列車)



YouTube

～迫力満点の走行風景～

区間は新津～会津若松
2023年7月29日より週末再開予定。(9月30日まで)

※全国最長の7両編成(機関車含む8両)・機関車C57 180
片道運行時間3時間超え。
津川駅と山都駅では給水・点検作業で長く停車。
※新潟県新津市(現・新潟県秋葉区)の新津市立新津第一
小学校で保存されていたC57 180を、大宮工場(現・大宮
総合車両センター)で動態復元した上で運行。



C57

只見線

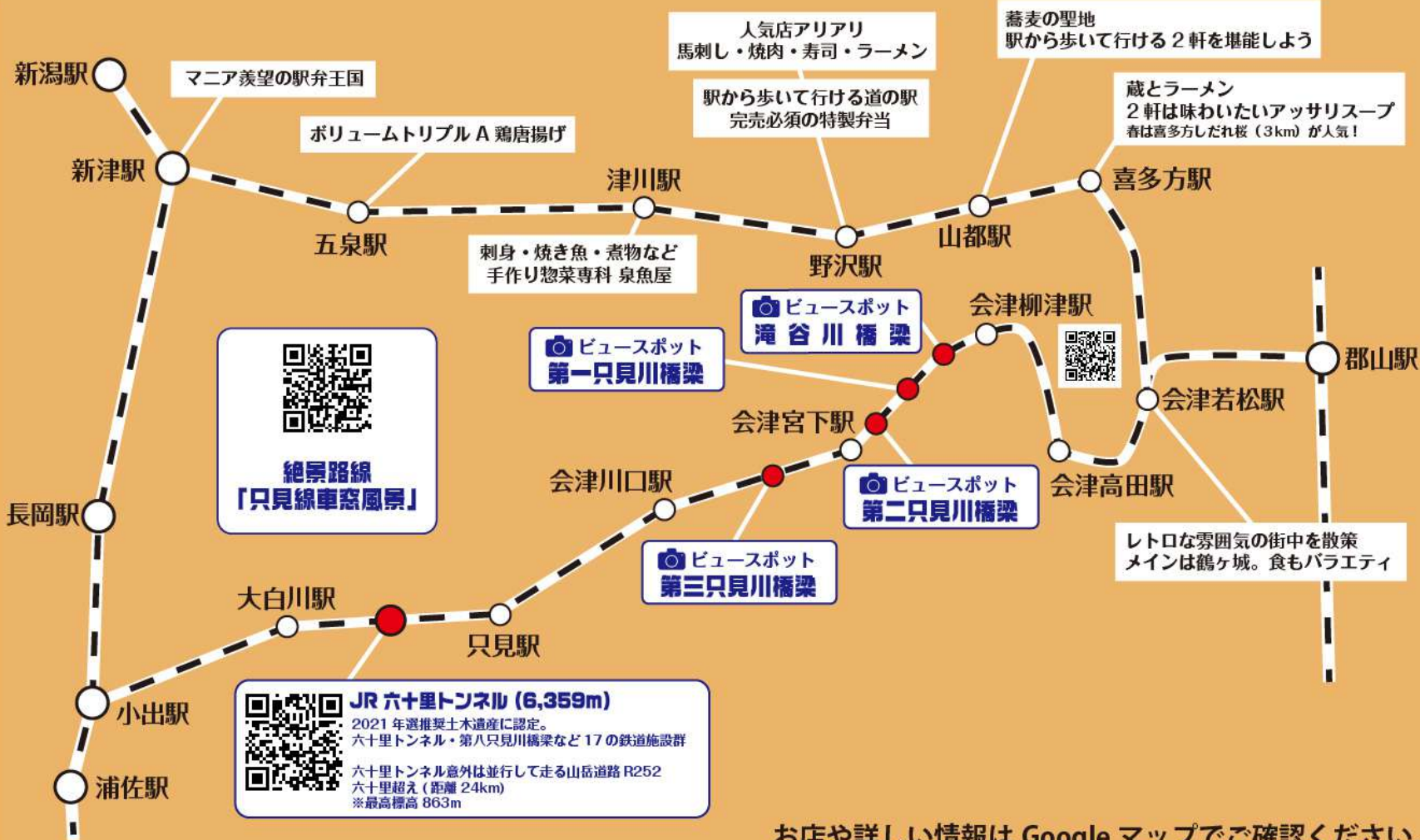
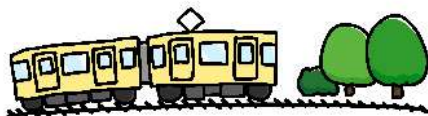


YouTube

～美しい越後三山と魚野川～

小出始発 5:36 会津若松行き(10:32 着)
片道 2,640 円

※只見駅からは只見川の美しい風景が見られる。
※撮影ポイントは列車からは見えません、下車して撮影ポ
イントまで移動が必要。



お店や詳しい情報は Google マップでご確認ください。

■新津 ～鉄道と石油の街～

鉄道の街、今も SL 磐越号などスペシャルな列車が停まる駅として鉄道ファンに人気。
新津鉄道資料館・JR 東日本新津車両製作所など鉄道関連の施設があります。

石油は、明治時代後期から大正時代にかけて、1917 年は日本一の産油量を誇った。
石油王として隆盛を極めた中野家の屋敷も整備され「中野邸記念館」他に石油の世界館もある。

■会津若松 ～歴史と文化の街～

会津地方の中心都市。
会津藩の城下町、鶴ヶ城は戊辰戦争で戦火にまみれた。

再現された天守閣は美しい城として人気スポット。

阿弥陀寺・飯盛山・会津さざえ堂・武家屋敷など歴史を感じられる史跡が多く点在している。

■喜多方 ～蔵とラーメン～

米沢と会津城下を結ぶ米沢街道の宿場町として栄える。
良質の米と水が豊富だった事から醸造業が発展し酒をはじめ、味噌、醤油などが造られるようになりました。

喜多方市内には2千棟とも4千棟とも言われる土蔵が現存している事から「蔵の町」とよばれます。
昭和61年(1986)には名称「蔵のまち(人と風土が育てた家並)」として国土交通省による手づくり郷土賞に受賞しています。

■只見

福島県の最西端に位置し、日本有数の豪雪地帯。
只見川には田子倉ダムなど多くのダムがあり、東日本を支える電力の供給基地。
周辺は秘境ともいえる日本の原風景を残しており「自然首都」がキャッチフレーズ。
新潟への道路 R252 は冬季閉鎖される、只見線は唯一の新潟へのアクセス。
河井継之助の終焉の地で河井継之助記念館もある。